

令和2年度 こども園評価について

朝来市立東河こども園

A：達成している(80%以上) B：概ね達成している(70%以上) C：あまり達成していない(50%以上) D：達成していない(50%未満)

評価項目		評価	今後の改善について	自己評価の妥当性 (学校関係者評価の意見等)
園 運 営	1 保護者や外部に教育方針や活動内容をわかりやすく伝えている	A	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止から行事や参観が中止となったが、今後は感染拡大予防策を十分行ないながら園行事の取り組み等考えていく。 ・不審者の危機管理体制が不十分なところもあり、玄関や窓の施錠などの徹底をしていく。又、マニュアルを職員に周知し、実施訓練も定期的にしていき職員の危機管理体制を築いていく。 ・新型コロナウイルス感染症の関係で園内の活動内容等わかりにくい面もあったと思われるので、今後、活動内容や教育保育方針など園だよりだけでなく、掲示したり各クラスだよりで、さらにわかりやすく伝えたりしていくことも必要だと考える。 	今年度はコロナ禍のために大変な年度となり、運営面においてはご苦労されたと思いますが、園内はもとより外部との接触が制限される中、園だよりクラスだよりなどにより、よく工夫した運営が行われていると思います。
	2 保護者参観・行事・面談・園だより等開かれた園づくりをしている	B		
	3 P T Aや地域との連携を図り、特色ある教育活動に取り組んでいる	B		
	4 園児の健康の把握や健康管理等適切な指導や対応ができています	A		
	5 防災・不審者の危機管理等、安全指導に努めている	B		
	6 園内の環境美化に努め、施設・設備等の安全管理を適切に行っている	A		
	7 園運営に教職員の意見が反映されている	A		
	8 教職員の資質能力を高めるための研修を十分に行っている	A		
教 育 課 程	1 教育目標が自園の実態を把握し、園児や保護者のニーズにあった内容である	A	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の関係で体験活動等十分ではなかったが園内研修を深め、園のテーマに向かって取り組みを進めた。異年齢児活動の充実は困難な面が多々あり試行錯誤しながらの取り組みとなったが多くの課題も見につきり次年度へ向け更に職員の共通理解を深めて取り組んでいきたい。 ・3歳未満児保育に関しては一人一人の発達に合わせた丁寧な保育をしていく。又、自尊心を育みながら遊びから生活習慣の自立へと向かっていけるような環境作りをしていきたい。 ・コロナ禍ではあったが小学校との交流は少しもてたと思う。今後も感染症予防対策をしながら行なっていきたい。 	年間行事はもとより新しい取り組みも行なわれており日々園児の成長が伺えます。ただ、地域住民との交流ができなかったことが寂しく思います。1日も早く新型コロナウイルス感染症が収束して子ども達に会えることを楽しみにしています。
	2 園児の発達に即し、遊びを中心とした体験的な教育に取り組んでいる	A		
	3 生きる力の基礎を身につける指導・工夫をしている	B		
	4 心の教育・道徳性の芽生えを養う指導や工夫をしている	B		
	5 地域を活かした特色ある教育活動を行っている	B		
	6 幼(保)・小・地域等との交流や連携を行い、保育・教育活動に活かしている	B		
	7 指導計画・行事の作成にあたっては教職員で話し合っている	A		
保 育 活 動	1 身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に関心をもてるよう工夫している	A	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で活動範囲が限られ自然と触れ合う機会が減ってしまったが色々と工夫をしながら地区の自然に触れ合えるようにしていきたい。 ・異年齢児活動等を通し、子どもの特性や発達を配慮して物的環境や人的環境を整え子ども達が主体的意欲的に生活していけるようにしていきたい。 ・遊びを通しての総合的な指導をしていけるように職員間で常に課題を持って取り組んでいくようにしたい。 	保育活動内容においては、保護者アンケートの結果から、各家庭において子どもの成長を認識していることが伺え、よくできていると思います。
	2 園児一人一人の発達を明確にし、共に育ち合える保育になっている	A		
	3 生命を大切に作る心や、規範意識が芽生えるよう指導している	A		
	4 自分の思いを言葉等で伝え、相手の思いに気づく力や、伝え合う喜びを培っている	A		
	5 健康・安全に必要な習慣や態度が身につくよう取り組んでいる	A		